

大本山善導寺のいま

重要文化財大庫裏6棟保存修理事業

善導寺の現在の建物は、その多くが江戸時代の延享5年(1748年)の大火の事後、20年間をかけて再建されたものです。現在、本堂・大庫裏・釜屋・広間・書院・役寮及び対面所・中蔵が国の重要文化財に指定されています。建立から250年がたち、老朽化が進む建物を、建築様式を調査しながら柱の底を礎石に含ませて削ります。

修理工事は、後で間違わずに組み立てられるようにそれぞれの部材に目印をつけて、解体します。部材の特徴などを調査した後、腐食している部分は新しい木を組み合わせて補強します。建物が解体されている間に、建物が発掘調査を少しずつ掘り下げ、現在は作り変えられて地上にない遺構や、江戸時代の大火事以前の遺構なども調査します。そして、調査や部材の修復が終わると、元通りに組み立てます。

このような修理によって、大切な文化財を後世に残すことが出来ます。この事業は平成24年度で終了します。



復元された大庫裏



柱の底を礎石に含ませて削ります。

善導寺の文化財

鎌倉時代から続き、大いに栄えた善導寺には、多くの貴重な文化財が残っています。

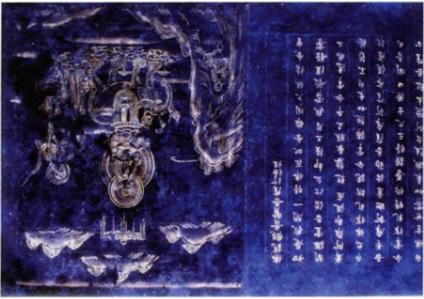
この他にも、木造四天王立像を始め、多くの県指定や市指定の文化財があります。

善導寺には、多くの貴重な文化財が残っています。鎌倉時代から続き、大いに栄えた善導寺には、多くの貴重な文化財が残っています。本堂の南に本造善導大師坐像は、本堂の南にある三軒堂の中央に安置されています。善導大師は、中国(唐)の高僧で、浄土宗の開祖です。像は松材で、鎌倉時代の作です。

木造大紹正宗国師坐像は、三軒堂の向かって左側に安置されています。大紹正宗国師とは、善導寺を開いた聖光上人です。こめかみの血管まで写真的に表現してあります。紺紙金泥観音賢経は、紺色の紙に銀の行線をひいた中に、金でお経が書かれており、隣には象に乗った普賢菩薩が描かれています。



多聞天立像(市指定文化財)



紺紙金泥観音賢経(国指定重要文化財)



木造大紹正宗国師坐像(国指定重要文化財)



木造善導大師坐像(国指定重要文化財)

■貴重な指定文化財たち■

No.	指定文化財の名前	指定の区分	こんな文化財です
24	善導寺本堂、大門ほか	建造物(国指定)	本堂、大門、大庫裏、釜屋、広間、書院、役寮、対面所、中蔵からなり、江戸中期の建築様式を伝える貴重な資料です。
25	木造善導大師坐像	彫刻(国指定)	別ページで紹介しています。
26	木造大紹正宗国師坐像	彫刻(国指定)	別ページで紹介しています。
27	紺紙金泥観音賢経	書跡(国指定)	別ページで紹介しています。
28	善導寺経蔵	建造物(県指定)	経典を納める建物。江戸時代の1743年建立と考えられます。
29	紙本著色本朝祖師伝絵詞	絵画(県指定)	浄土宗の開祖、法然上人の行状を描いた絵巻物。室町時代の作と推定されています。
30	梵鐘	工芸品(県指定)	善導寺の鐘。江戸時代1661年に有志の寄付で作られたものです。
31	善導寺の大樟	記念物(県指定)	巨大な樟。800年前、聖光上人が植樹されたといわれています。
32	善導寺の菩提樹	記念物(県指定)	境内に4本あるうちの2本が指定されています。
33	管崎八幡宮の大イチョウ	記念物(県指定)	別ページで紹介しています。
34	石浦大橋	建造物(県指定)	別ページで紹介しています。
35	木造釈迦如来坐像	彫刻(市指定)	善導寺釈迦堂の本尊です。鎌倉時代の1314年製作。もとは三瀨郡酒見浄土寺にあったものを後に善導寺に移したものです。
36	木造四天王立像	彫刻(市指定)	多聞天(毘沙門天)は平安時代(1120年作)。ほかの3体は江戸時代の作。
37	木造宝冠阿弥陀如来坐像	彫刻(市指定)	善導寺の書院に安置されています。南北朝の1349年製作。
38	木造阿弥陀如来坐像	彫刻(市指定)	善導寺本堂の阿弥陀三尊の中尊です。形式から鎌倉時代中期の作。
39	麻・絹本着色地蔵十王図	絵画(市指定)	地蔵とそれを取り巻く十王を描いた絵画です。朝鮮李朝の隆慶2年(1568年)の作。

■善導寺・大橋校区の歴史年表■

善導寺・大橋校区のできごと	時代	西暦	日本のできごと
●木塚地区に人々が住み始める(木塚遺跡)	縄文	6500年前	
●木塚地区に土壌墓などが造られる。	弥生	2500年前	稲作など弥生文化が伝わる。吉野ヶ里に大規模な環濠集落が営まれる。卑弥呼が邪馬台国を治める。古墳が造られ始める。
●木塚地区に古墳群が造られる。(木塚古墳、堂前古墳など)	古墳	1500年前	磐井の乱(527年)
●与田地区に人々が生活する(与田遺跡)	飛鳥奈良	1300年前	日本が中央集権国家になる。平城京に都を遷す。(710年)
●草野氏を大檀那として、聖光上人が善導寺を創建する。	平安	1200年前	平安京に都を遷す。(794年)
●西誓寺が開かれる。	鎌倉	1208年	鎌倉幕府が開かれる。(1192年)
●大友軍の立花道雪、高橋紹運によって善導寺が焼かれる。	室町・戦国	1584年	南北朝の内乱。大友氏、龍造寺氏、島津氏などが九州の覇権を争う。豊臣秀吉の島津攻め(1587年)
●草野家清が謀殺され草野氏滅亡	江戸	1616年	徳川家康、江戸幕府を開く。(1603年)
●田中忠政、善導寺に家康廟をつくる。	江戸	1621年	有馬氏が久留米二十一万石の領主となる。
●有馬氏入国し、善導寺を保護する。	江戸	1698年	
●石浦村に石橋がかけられる(石浦大橋)	江戸	1748年	
●善導寺大火災。多くの建物が消失。20年をかけて再建される。	江戸	1748年	
●おおはし歴史公園オープン。善導寺修理事業。	明治現代		明治維新(1868年)



遺構の調査

「善導寺の発掘調査」

建物修理に伴って発掘調査が行われ、過去の建物の遺構や、水琴窟などが発見されています。



水琴窟の使用実験